



インフラツアー ポイントガイド

復興版

いま
～復興の「現在」を訪ねる旅に出かけよう～

〈お問い合わせ〉

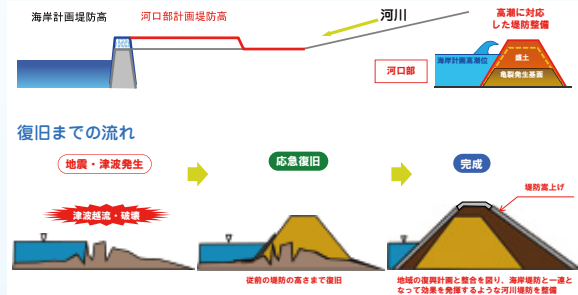
国土交通省 東北地方整備局

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号
仙台合同庁舎B棟 11F 企画部企画課
TEL.022-225-2171
FAX.022-221-9890



河川事業

被災した河口部の河川堤防は、海岸堤防と整合を図りながら、洪水、高潮、津波(施設設計上の津波)に対して必要とされる堤防高を整備しています。

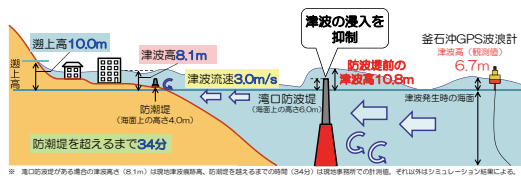


港湾事業

釜石湾口防波堤の事例

被災した釜石湾口防波堤の復旧では、最大クラス(東日本大震災クラス)の津波に対して、住民が避難する時間を確保することと津波被害の軽減を目的とした「粘り強い構造」を採用しています。

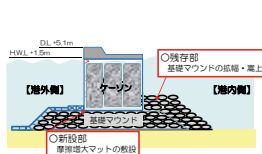
湾口防波堤の津波防護効果



北堤の被災状況



粘り強い構造による復旧



道路事業

三陸沿岸道路(三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道)が「復興道路」として、また、宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)、東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)、東北中央自動車道(相馬～福島)が「復興支援道路」として、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備を進めています。



公園事業

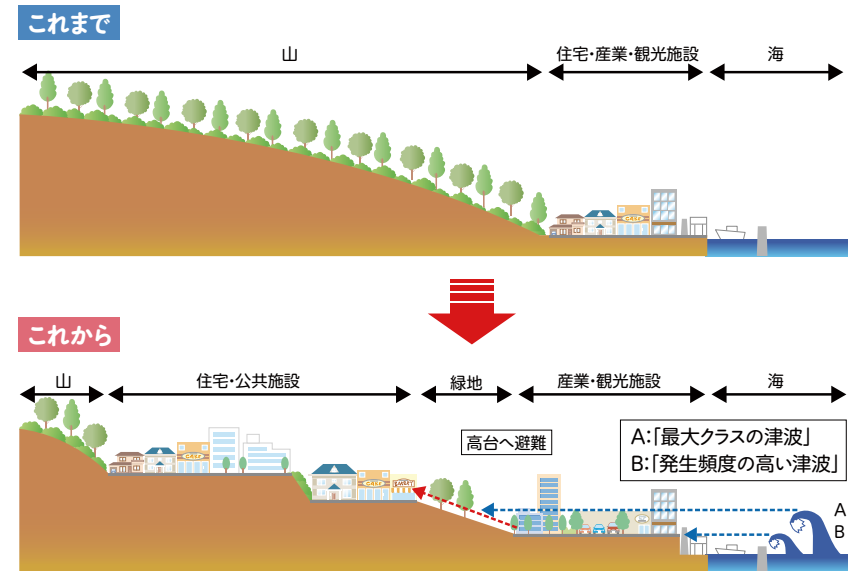
東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、国と地方公共団体との連携のもと、岩手県陸前高田市(高田松原地区)宮城県石巻市(南浜地区)及び福島県双葉郡浪江町(両竹地区)に国営追悼・祈念施設(仮称)を設置します。



復興まちづくり

住宅や病院、子育て支援施設などの公共施設を高台へ移転し、低地部は、国道、県道、河川、漁港等と一体的な都市基盤の再編、高台の発生土を活用した土地のかさ上げを行い、商業施設や交流施設等を配置することで、安全・安心かつにぎわいのあるまちづくりを進めています。

復興まちづくりのイメージ



出典:南三陸町震災復興計画

土地区画整理事業

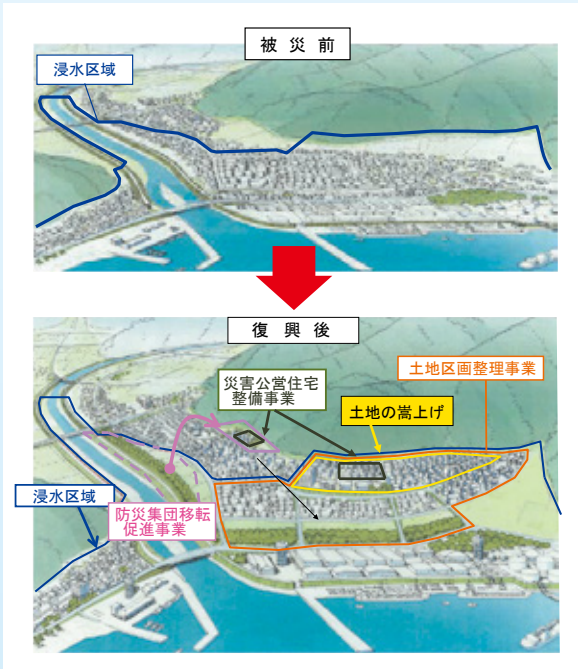
移転の受け皿となる市街地の形成のために、公共施設と宅地を計画的かつ一体的に整備し、また、防災上安全な宅地を確保するため、隣接する丘陵地との一体的整備や、津波防災上必要な市街地の高上げ(盛り土)等を行います。

防災集団移転促進事業

震災被災地域又は災害危険区域のうち、住民の居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団の移転を促進します。

災害公営住宅整備事業

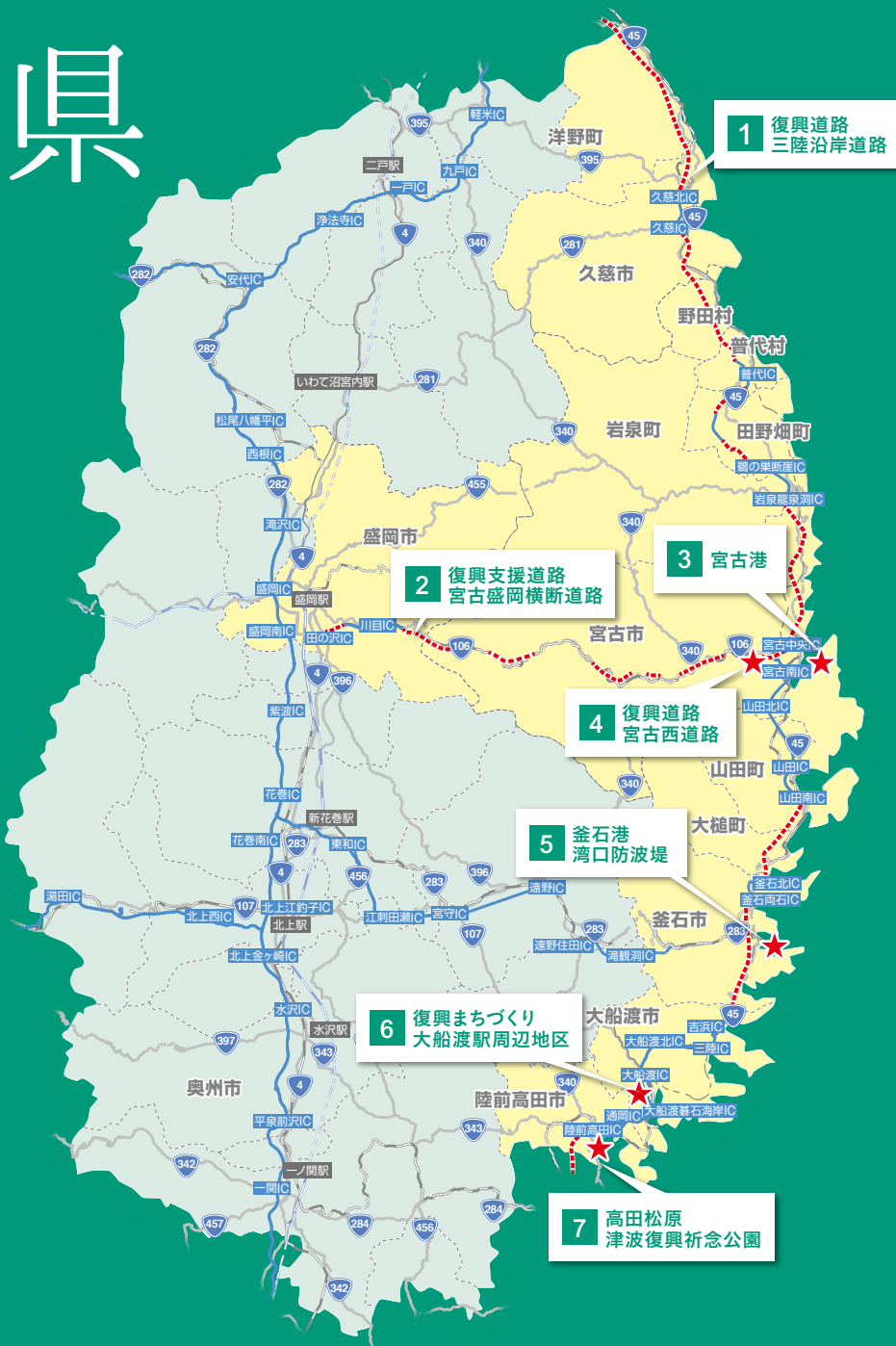
東日本大震災によって住宅を失い、かつ自力再建が困難な方々の居住の安定確保を図るため、災害公営住宅を整備します。





岩手県

IWATE



平時の暮らしを支え、災害時に命を守る道



1 夏井高架橋(仮) 2 建設中の夏井高架橋(仮)を見上げる 3 久慈港全景

岩手県

岩手県 | 陸前高田市・大船渡市・釜石市・大槌町・山田町・宮古市
岩泉町・田野畑町・普代村・野田村・久慈市・洋野町

1 復興道路 三陸沿岸道路

三陸沿岸道路は宮城、岩手、青森の太平洋沿岸を結ぶ自動車専用道路です。東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトです。

岩手県宮古以北で最大級の橋梁(夏井高架橋(仮))を見学することができます。

お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 総務課
〒027-0029 岩手県宮古市藤の川4-1
tel.0193-62-1711 fax.0193-71-1734
E-mail. thr-sanriku01@mlit.go.jp
http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/06_office/50pro/
※久慈市以外でも多くの沿岸市町村にて復興道路工事をしておりますので気軽にご相談ください。

【もぐらびあみなとオアシス】久慈市 総合政策部 港湾・エネルギー推進課
〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1
tel.0194-52-2369 fax.0194-52-3653
http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/minato-oasis/feature/iw_kuji/

施設までのアクセス
【もぐらびあみなとオアシス】
〈車〉八戸自動車道「九戸IC」から約50分
〈電車&車〉JR八戸線・三陸鉄道 久慈駅から車で約15分

体験者の声

工事現場見学

- 仕事をみて、やっぱりカッコイイなと思いました。将来みなさんと働いてみたい。
- 見学をして、橋の造り方や工事の工夫がわかりました。

もぐらびあ

- 津波からの復活をとげたい水族館だと思います。4階の「さかなくん応援展示」も心に響きました。

体験内容

工事現場見学

団体学習

普段行くことができない高さ約40mの橋に昇り、工事の進捗、橋の構造、技術について学ぶことができます。

実施時期	2月～9月の平日	主な見学箇所	夏井高架橋(仮)ほか(久慈市)
時間帯	9:00～17:00		
最少案内人数	10名程度		
料金	無料		

もぐらびあ

「もぐらびあみなとオアシス」として登録されている「久慈地下水族科学館もぐらびあ」は、国家石油備蓄基地のトンネルを使用した日本初地下水族館です。震災により全壊しましたが、平成28年4月23日からリニューアルオープンしています。

休館日	毎週月曜日(休日の場合はその翌日) 1月1日、12月31日
営業時間	4月～10月 9:00～18:00 11月～3月 10:00～16:00 (最終入館は閉館30分前)
料金	一般700円 高校生・学生500円 小・中学生300円(※団体割引あり)



沿岸部と県都を結ぶ命の道

1 新区界トンネル(仮)内部 2 新区界トンネル(仮)宮古側坑口を望む 3 新区界トンネル(仮)宮古側坑口



岩手県 | 宮古市

3 宮古港

震災を乗り越えて、新たな交流拠点が形成されます。

平成30年6月22日、岩手県初となる「宮古-室蘭フェリー定期航路」が就航します。「道の駅・みなとオアシスみやこ」シートピアなどでは、Sea級グルメ全国大会が開催されるなど、ますます賑わいをみせています。



お問い合わせ先

【宮古港 港見学】
国土交通省 東北地方整備局 釜石港湾事務所
〒026-0011 岩手県釜石市港町2-7-27
tel.0193-22-9118 fax.0193-22-6636
E-mail pa.thr-i-kamaishi@mlit.go.jp
http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kamaishi/

【道の駅・みなとオアシスみやこ】宮古市 産業振興部 観光港湾課
〒027-8501 岩手県宮古市新川町2-1
tel.0193-68-9093 fax.0193-63-9120
http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/minato-oasis/feature/iw_miyako/

施設までのアクセス

【宮古港 港見学】
※集合場所については、お申込みの際にお伝えします。
【道の駅・みなとオアシスみやこ(シートピアなど)】
〈電車&バス〉JR山田線宮古駅からバス(浄土ヶ浜行き)で約10分
漁協ビルで降車後、徒歩10分
〈車〉東北自動車道「盛岡南IC」から約120分

体験内容

宮古港 港見学

団体
学習



港湾業務艇に乗船し、海上での工事の様子や、港の利用状況などを実際に見ていただきながら説明します。震災からの港の復旧への取り組みなどについてもご紹介いたします。

実施時期 随時
時間帯 平日9:00~16:00(乗船見学は40分から1時間程度)
料金 無料

道の駅・みなとオアシスみやこ

「道の駅・みなとオアシスみやこ」は、宮古港出崎地区に立地する本州最東端のみなとオアシスです。主要施設である「シートピアなど」には、新鮮魚介類・山里の幸や匠の技を取り揃えた物産販売コーナーや四季折々のメニューを提供するレストランがあり、情報コーナーでは道路情報や地域情報等をタイムリーに提供しています。体験学習やイベントも開催されており、地域の交流拠点となっています。



▲平成27年に宮古港で開催された「みなとオアシス sea級グルメ全国大会」の様子

体験者の声

- 陸上から見たイメージと違い、海上では防波堤の効果で波のあるところ、無いところの違いが見られて良かったです。
- 防波堤が波を抑えている様子を見近に見てビックリした。

1 震災時の宮古港(巖ヶ崎地区) (出典:いわて震災津波アーカイブ/提供者:宮古市) 2 藤原ふ頭(被災直後) 3 大型クルーズ船寄港時の様子 4 宮古-室蘭フェリー定期航路で就航予定の「シルバークイーン」

岩手県 | 宮古市・盛岡市

2 復興支援道路 宮古盛岡横断道路

宮古盛岡横断道路は、東日本大震災で被災した沿岸部と内陸部との交流・連携を促進する道路です。区界峠を貫く新区界(くざいかい)トンネルは、北東北最長の道路トンネルになります。

平成30年1月に貫通した新区界トンネル。今なら工事期間中ならではの見学が可能です。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 計画課
〒020-0066 岩手県盛岡市上田4-2-2
tel.019-624-3179 fax.019-624-6315
E-mail thr-731iwate@mlit.go.jp
http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/genbakengaku/

体験者の声

- トンネルの工事現場を初めてみました。土の壁がとっても不思議でした。
- 毎日何気なく通っていた道、よく見るととても立派な機械がありました。
- 昔や今の道、トンネルの事を詳しく、わかりやすく説明していただいたので楽しかった。

体験内容

工事現場見学

団体
学習



区界峠を貫く北東北(青森・岩手・秋田)最長道路トンネルの工事現場を見学できます。

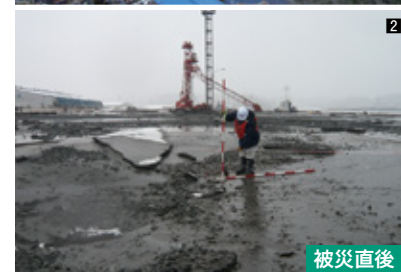
実施時期 平日
時間帯 8:30~17:30
最少案内人数 10名程度
料金 無料
主な見学箇所 新区界トンネル(仮)(宮古市・盛岡市)

岩手県初の

フェリー定期航路が開設予定



被災直後



被災直後



現在



現在



災害時の緊急輸送と代替機能を確保

岩手県 | 宮古市

4 復興道路 宮古西道路

宮古盛岡横断道路は、東日本大震災で被災した沿岸部と内陸部との交流・連携を促進する道路です。そのうち宮古西道路は宮古市内を通過する区間です。

橋梁やトンネルなど道路に関する様々な工事を見学することができます。



お問い合わせ先

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター 道路整備課
〒027-0072 岩手県宮古市五月町1-20
tel.0193-64-2221 fax.0193-71-1239
E-mail bj0007@pref.iwate.jp
http://www.pref.iwate.jp/engan/miya_doboku/

体験者の声

- トンネル貫通時の光が差し込む瞬間に感動しました。
- トンネル内部の構造を見ることができ貴重な体験が出来ました。
- 橋の上に自分たちの復興への願いを書かせてもらい思い出になった。
- 復興のため全国から集まって道路を作ってもらいごろうさまです。

体験内容

工事現場見学

団体
学習



橋梁工事をはじめとした様々な道路工事を見学できます。平成30年4月中旬には、日本で数少ない650トンクレーンによる橋梁架設をご覧いただけます。

実施時期	平日
時間帯	10:00~16:00
最少案内人数	10名程度
料金	無料

※復興道路

岩手県東日本大震災津波復興計画復興実施計画(平成23年8月岩手県策定)で位置付けた道路です。国では縦貫軸を「復興道路」、横断軸を「復興支援道路」と呼称しています。

岩手県 | 釜石市

5 釜石港 湾口防波堤

釜石港 湾口防波堤は、世界最大水深の防波堤です。平成29年度末の完了を目指して、復旧工事を進めています

昭和53年から約30年の期間をかけて整備された大規模な防波堤で、水深は最も深い所で63mあります。震災前の平成22年7月27日には「世界最大水深の防波堤 (Deepest Breakwater)」としてギネス世界記録に認定されています。



お問い合わせ先

【湾口防波堤】国土交通省 東北地方整備局 釜石港湾事務所
〒026-0011 岩手県釜石市港町2-7-27 tel.0193-22-9118 fax.0193-22-6636
E-mail pa.thr-i-kamaishi@milit.go.jp
http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kamaishi/

【釜石大観音】明峰山石応禪寺

〒026-0002 岩手県釜石市大平町3-9-1 tel.0193-24-2125(受付9:00~16:30)
http://kamaishi-daikannon.com/

施設までのアクセス

【釜石大観音】

〈車〉釜石自動車道「釜石西IC」から約20分
〈バス〉岩手県交通「釜石大観音」停留所から徒歩約11分

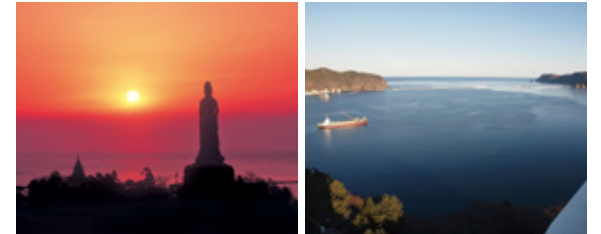
体験者の声

- 釜石湾を一望でき、清々しい気分になりました。
- 視界を遮るものがない魚籃展望台では、「世界最大水深の防波堤」としてギネス登録されている湾口防波堤の全景を見ることができて良かったです。

体験内容

釜石大観音から見る釜石港

家族
個人
団体
学習



釜石湾を一望できる「釜石大観音」の魚籃展望台(11・12階)からは、湾口防波堤の全景をご覧いただけるほか、その規模の大きさを感じることができます。

休館日	12月29日~31日 21:00
開館時間	9:00~17:00(季節により変動あり)
料金	大人500円 中学生300円 小学生100円(※団体割引あり)

岩手県内初のガントリークレーン

平成29年8月、復興支援として大阪府から岩手県に無償譲渡されたコンテナ荷役専用クレーン(ガントリークレーン)が整備され、荷役効率が大きく向上することで物流の活性化が期待されています。このクレーンは、釜石市内の釜石市魚市場などから、ご覧になれます。



1 湾口防波堤(北堤)の被災状況 2 浜町高台より釜石港(須賀地区)方面(出典:岩手県建設業協会) 3 湾口防波堤(左が北堤、右が南堤) 4 ケーソン据付の様子



被災直後



被災直後



現在



現在

釜石の街を守るため、復旧が進む湾口防波堤



100年後の未来へ引き継ぐ街を創る



1 被災直後の大船渡駅周辺 (提供: (一社)東北地域づくり協会) 2 被災直後の大船渡駅周辺 3 第2期まちづくり (平成29年4月) 4 復興が進む大船渡駅周辺

現在

岩手県 | 大船渡市

6 復興まちづくり 大船渡駅周辺地区

津波からの多重防御を図る基盤整備と、官民連携により持続的に賑わいを創出するまちづくりを進めています。

水辺空間も整備された落ち着いた街並みです。



お問い合わせ先

大船渡市役所 災害復興局大船渡駅周辺整備室

〒022-0003 岩手県大船渡市盛町字津野沢15番地
tel.0192-27-3111 fax.0192-27-3378
E-mail ofu_seibi@city.ofunato.iwate.jp
http://www.city.ofunato.iwate.jp/

施設までのアクセス

〈車〉東北自動車道「一関IC」から約100分

体験者の声

- キャッセン大船渡ではイベントが頻りに開催されていて楽しい!
- 今後、屋内の遊び場やファイナー、海を眺める丘のある公園ができるので楽しみにしています!
- 須崎川の親水護岸では水遊びができたり、生き物の観察もできるので、子どもを連れてよく来ています!
- かもめの玉子にお菓子のお絵描きができて楽しかった!

体験内容

キャッセン大船渡

家族

個人



お菓子のファクトリーショップや商店街、ライブハウス、スーパーマーケット、ホテル等からなり、飲食・ショッピングはもちろん、時期によってはイベントも楽しめます。

時間帯 営業時間は店舗により異なります

体験内容

一本松茶屋

家族 個人 団体



「奇跡の一本松」からおよそ500m離れた所にある「奇跡の一本松駐車場」に、観光復合施設「一本松茶屋」があります。地元の物産販売施設のほか、カフェ、ラーメン店などの飲食店もあります。

時間帯 9:00~18:00(12月~2月 9:00~17:00)

開通前の道路を歩こう!!

団体 学習



平成30年度開通予定の唐桑高田道路。時期によっては開通前しか体験できない高速道路を歩いて体感できます。※申込みは左記「南三陸国道事務所」まで

実施時期 2月~開通までの平日
時間帯 10:00~16:00

最少案内人数 10名程度
料金 無料
主な見学箇所 新気仙大橋(仮)(陸前高田市)ほか

1 被災前後の高田松原(提供: (一社)東北地域づくり協会) 2 高田松原空撮 3 奇跡の一本松 4 高田松原津波復興祈念公園イメージパース



岩手県 | 陸前高田市

7 高田松原 津波復興祈念公園

国、岩手県及び陸前高田市が連携して、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓の伝承、復興への意志を発信する場として、復興の象徴となる公園の整備を進めています。

7万本の松のうち1本だけ残った「奇跡の一本松」を間近に見ることが出来ます。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所

〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9
tel.0224-84-6211 fax. 0224-84-6214

E-mail thr-mitinoku@mlit.go.jp http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/

国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所

〒026-0301 岩手県釜石市鶴住居町第13地割1-4
tel.0193-28-4731 fax.0193-29-1641

E-mail thr-minamisanriku01@mlit.go.jp

http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/kengaku/

施設までのアクセス

【高田松原津波復興祈念公園】

〈車〉東北自動車道「一関IC」から約95分

体験者の声

- 普段近くで見ることのできない工事現場の迫りに圧倒され、貴重な体験でした。
- 橋、トンネル、道路は立派にできていて感動した。早く自分で運転して走ってみたい。



亡き人を想い、震災の教訓を未来へ伝える



東日本大震災 Part.1

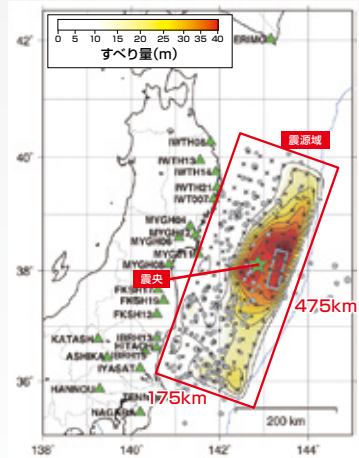
地震発生、津波襲来。

3月11日(金)14時46分 巨大地震発生。

マグニチュード9.0、最大震度7の激震

宮城県の栗原市で震度7、宮城・福島・茨城・栃木県で震度6強という地震が、東北地方を中心に東日本を襲いました。地震の規模はマグニチュード9.0で、国内の観測史上最大規模でした。東日本大震災は、本震を含め4つの大規模地震が断続して発生した連動型で、本震後40分の間にマグニチュード7.0以上の地震が三陸沖から茨城県沖にかけて発生しました。余震も多発し、1ヵ月間でマグニチュード5.0以上の余震が400回以上発生しました。震源域は、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及びました。

震源域



出典：気象庁気象研究所

地震概要
発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分
震源 三陸沖(牡鹿半島の東南東130km付近) 深さ24km
規模 マグニチュード9.0
地震名 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震
主な震度 震度7：宮城県北部
震度6強：宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、栃木県北部・南部
震度6弱：岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、埼玉県南部、千葉県西北部

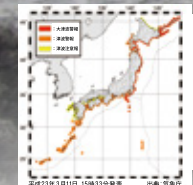


東日本大震災 Part.2

地震発生、津波襲来。

東日本太平洋沿岸 巨大津波襲来。

観測史上最大の津波が沿岸地を襲いました。



東北地方を激震が襲った直後、北海道・東北・関東地方太平洋沿岸に巨大津波が押し寄せました。沿岸各地に襲来した津波は、最大10m以上に達し、未曾有被害をもたらしました。その後の調査で、海岸の地形や湾の形状などによって津波の高さは異なり、被害の状況も違ってきます。斜面を遡上した高さでは、岩手県宮古市で39m以上を記録。これは明治29年の明治三陸地震の際、岩手県大船渡市で確認された38.2mを上回る、観測史上最大の規模となりました。

岩手県宮古市(旧田老町)田老町漁業協同組合提供資料

津波概要

大津波警報

北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島[11日 15:33現在]

津波の高さ(津波観測点付近の痕跡等から推定した高さ)

八戸(青森県) 6.2m	釜石(岩手県) 9.3m	仙台港(宮城県) 7.2m
久慈港(岩手県) 8.6m	大船渡(岩手県) 11.8m	相馬(福島県) 8.9m
宮古(岩手県) 7.3m	石巻市鮎川(宮城県) 7.7m	

出典：気象庁

津波の遡上高さ

宮古市(岩手県) 39.211m
釜石市(岩手県) 30.480m
大船渡市(岩手県) 31.839m
陸前高田市(岩手県) 22.184m
気仙沼市(宮城県) 22.671m
南三陸町(宮城県) 20.408m
相馬市(福島県) 21.303m

出典：「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による速報値(2011年12月15日) <http://www.cossel.jp/>
※信頼度A(信頼大なるもの、痕跡明確にして、測量誤差も小なるもの。)

全壊 12万7,130戸 半壊 23万1,603戸

死者・行方不明者が2万人規模の未曾有の災害

激震とその後の巨大津波により、太平洋沿岸地域を中心に各地で甚大な被害が発生し、死者、行方不明者は合わせて2万人近く、避難者は33万人以上に達しました。また、家屋の全壊をはじめ、道路の流失や崩落、橋の落下、堤防の全壊など、広範囲に及ぶ被害が発生しました。被災は、災害対策の司令塔となるはずの自治体庁舎にも及んだほか、太平洋沿岸の国道45号、4号、6号の各所を寸断、沿岸部の各地を孤立させました。

宮城県南三陸町防災対策庁舎 東北地方整備局資料

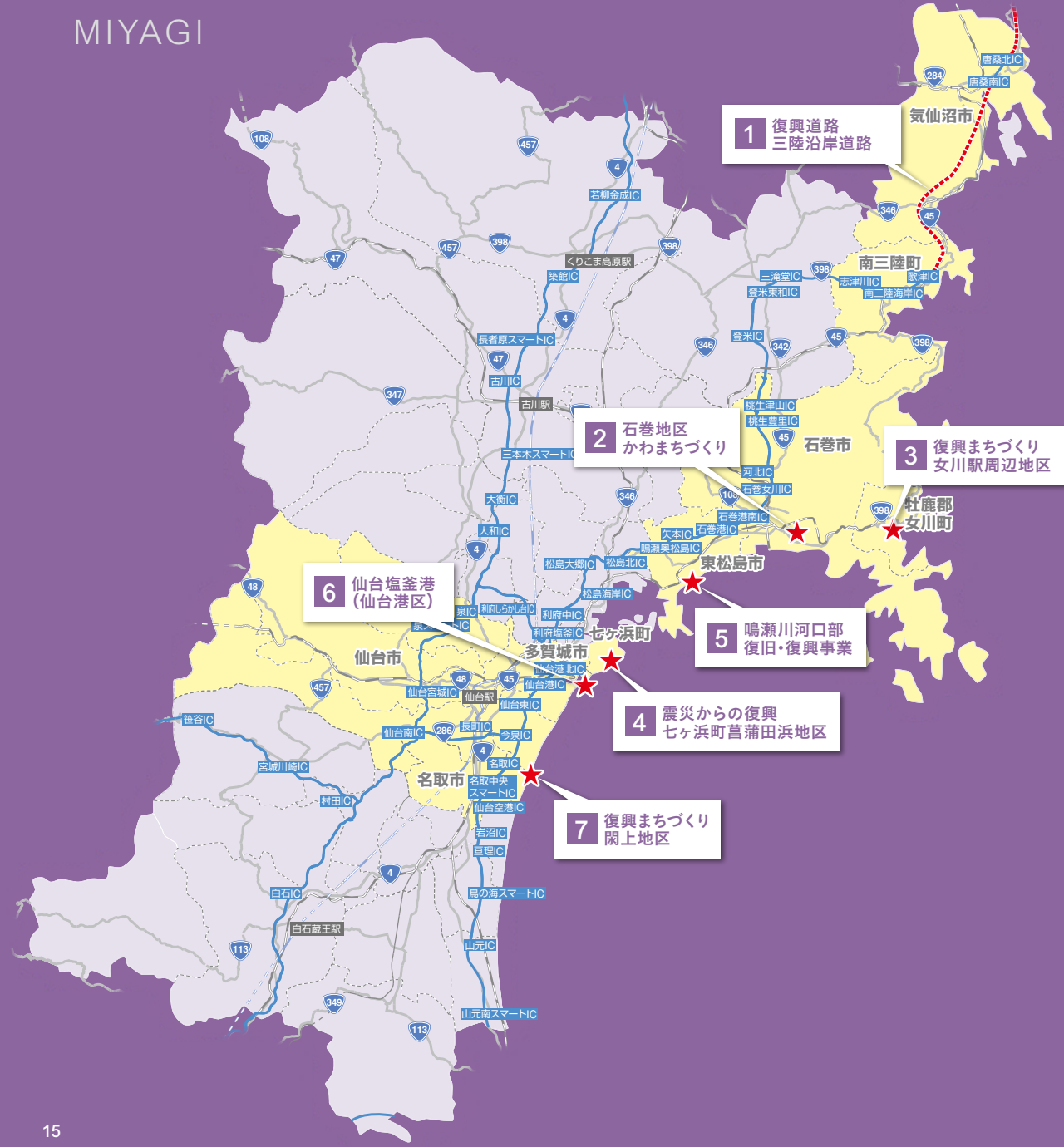
被災状況

死者・行方不明者	死者19,533名(震災関連死を含む) 行方不明者2,585名	(平成29年3月 緊急災害対策本部資料)
建築物被害	全壊 12万7,130戸 半壊 23万1,603戸 一部損壊 74万4,396戸	(平成29年3月 緊急災害対策本部資料)
避難者数	12万1,768名	(平成29年3月 緊急災害対策本部資料)
河川の被害	2,115箇所	(平成23年5月 国土交通省資料)
堤防護岸の被害	岩手、宮城、福島3県(堤防護岸300km)において、全壊・半壊が約190km	(平成23年5月 国土交通省資料)
港湾の被害	国際拠点港湾及び重要港湾11港 地方港湾18港	(平成23年5月 国土交通省資料)
下水道関係の被災	下水道処理場の稼働停止18カ所(岩手県、宮城県、福島県及び茨城県の沿岸部にある下水道処理場)管渠137市町村などの下水道66,086kmのうち、957kmで被災	(平成23年5月 国土交通省資料)
道路の被害総数	高速道路15路線 直轄国道69区間 都道府県などの管理国道102区間 都道府県道など539区間	(平成23年5月 国土交通省資料)
津波による浸水面積	岩手県58km ² 宮城県327km ² 福島県112km ²	(平成23年4月 国土交通省資料)



宮城県

MIYAGI



1 被災直後(気仙沼湾) (提供: (一社)東北地域づくり協会) 2 歌津IC付近 3 気仙沼湾横断橋(仮)

宮城県 南三陸町・気仙沼市

1 復興道路 三陸沿岸道路

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の太平洋沿岸を結ぶ自動車専用道路です。東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトです。

東北地方最大の橋梁やトンネルなど様々な工事現場を見学することができます。

お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 計画課
 〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
 tel.022-304-1902 fax.022-249-3772
 E-mail thr-sendai01@mlit.go.jp
 http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/oyakudachi/kengaku/
【現場見学会についてもこちらのURLからお問い合わせください】

体験内容

工事現場見学 団体 学習



トンネルや橋梁の工事現場を見学できます。また、コンクリートの打設体験など、各現場に応じた貴重な体験ができます。

実施時期	随時	最少案内人数	10名程度
時間帯	9:00~17:00	料金	無料
		主な見学箇所	気仙沼湾横断橋(仮)ほか(気仙沼市)

体験者の声

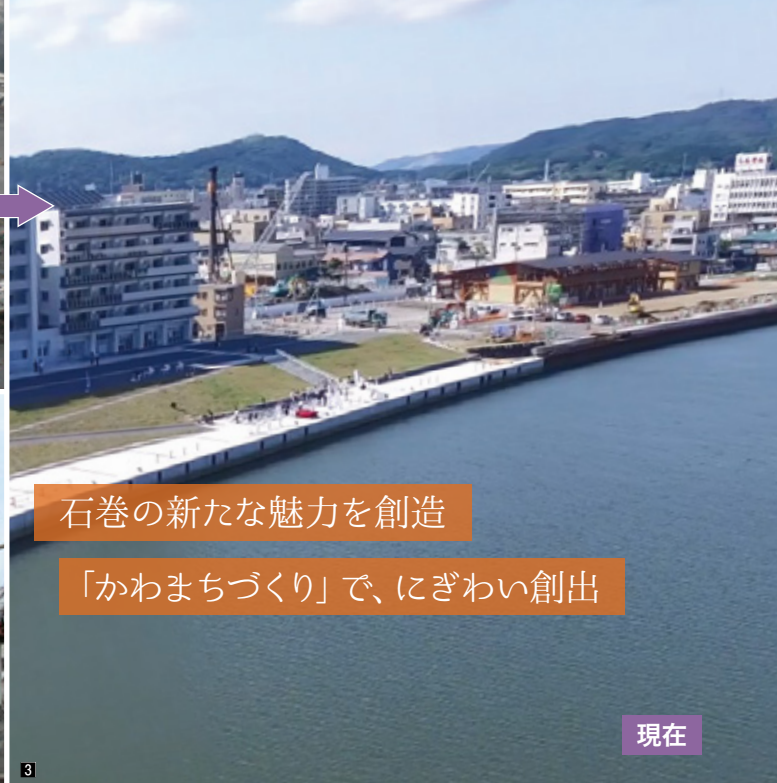
- 普段乗れない建設機械に試乗でき、遠くまで見渡せて気持ちよかった。
- 気仙沼での最大規模となる事業。完成が待ち遠しく、橋がかかった内湾を早く見たい。
- 工事が最盛期の時期に、子どもたちに現場を見せることができて良かった。
- 供用後は人が歩けないため、供用前の三陸沿岸道路の工事現場を歩いて貴重な体験ができた。



被災直後



被災直後



石巻の新たな魅力を創造

「かわまちづくり」で、にぎわい創出

現在

1 旧北上川を遡上する津波(写真提供:石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城) 2 旧北上川右岸 門脇地区の被災(写真提供:石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城) 3 堤防一体空間整備状況

宮城県 | 石巻市

いしのまき

2 石巻地区 かわまちづくり

石巻らしい街並みを復興・再生し、水辺と親しみながら人々が集い、交流する空間を創造していきます。また、石巻市内では、「川村孫兵衛重吉」のゆかりの地巡りなど、北上川改修の歴史・近代～現在の復旧・復興事業が体感できる企画も実施しています。

震災復興で新たに整備される堤防・護岸を活かした、まちづくりと水辺が一体となった「かわまちづくり」

お問い合わせ先

石巻市役所 建設部 河川港湾室
〒986-8501 宮城県石巻市鞍町14番1号
tel.0225-95-1111
http://www.city.ishinomaki.lg.jp

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 調査課
〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80
tel.0225-95-0194
http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/

地域のかわまちへの思い

●石巻は街の中心を旧北上川が流れ、川は常に身近な存在として暮らしてきました。生命と財産を守るため堤防がつけられますが、川との繋がりを保ち、水辺の魅力を活かした整備を進めてほしいです。(70代男性)

利用者の声 (南浜つなぐ館)

●どこか他人事だったけど実際に行ってみるととてもよくなりました。自分の命を守るために、家族で、この地域の災害に合った避難所や避難方法を話し合いたいです。



川村孫兵衛重吉

体験内容

いしのまき元気いちば
(平成29年6月30日オープン)



石巻の旬の鮮魚、農産品、地元の物産品などを豊富に取り揃えており、2階にはフードコートもあり、石巻の旬をその場で味わうこともできます。

休館日 毎月第3火曜日休館
時間帯 1F 物販コーナー 9:00～19:00
2F フードコーナー 11:00～20:00

南浜つなぐ館



震災前の街の復元模型や震災直後の様子が見られるVR映像、復興記念公園の計画案等を展示しています

開館日・時間 土・日曜日・祝日 10:00～15:00
金曜日 13:00～15:00

中央地区プロムナード堤防



石巻市では新たな堤防整備と併せてプロムナードを整備し、水辺と親しむことのできる空間作りを目指しています。中央地区においてはプロムナード堤防と復興公営住宅が一体となり、水辺に親しみやすい空間が形成され、イベントではにぎわいを見せています。

石ノ森萬画館



石ノ森章太郎のマンガミュージアム。館内には仮面ライダーやサイボーグ009などの貴重な原画などが展示されており、「宇宙船」をイメージした施設の個性的な外見と併せて石ノ森ワールドを満喫することができます。

休館日 3月～11月:第3火曜 12月～2月:火曜
定休日が祝日の場合、翌日休館
GW、正月は休まず営業

時間帯 3月～11月:9:00～18:00
12月～2月:9:00～17:00 大晦日は15:00閉館
(チケット販売は閉館30分前まで)
料金 個人利用 大人800円/中学生500円/小学生200円
団体料金(20名以上)
大人600円/中学生400円/小学生160円
年間パスポート
大人2000円/中学生1000円/小学生500円
小学生未満は無料です。
その他3Fライブラリーコーナーは無料ゾーンとなっています。

家族 個人 団体

宮城県 | 牡鹿郡女川町

3

復興まちづくり 女川駅周辺地区

観光客も町民も、海を見ながら集いにぎわえる女川の魅力を活かしたまちづくりを進めています。

女川駅から海へ向かうプロムナードなど、駅の屋上からすばらしい景色がみられます。



お問い合わせ先

女川町役場 産業振興課

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原316
tel.0225-54-3131 fax.0225-53-5483
http://www.town.onagawa.miyagi.jp

施設までのアクセス

〈 車 〉東北自動車道「仙台南IC」から約80分

体験者の声

- 復興に向けたまちづくりが確実に進んでいると感じられました。
- 羽ばたくウミネコをイメージした女川駅。大きな屋根がとっても印象的です。



被災直後



現在



現在

住民一人一人の思いが新しい町に

1 被災直後の女川中心部 2 にぎわう女川駅前 3 女川駅を中心とした新しいまち

体験内容

シーバルピア女川



レングミちに隣接する商業施設で、日用品・工房・飲食エリアから構成され、様々な業種の27店舗が出店しています。

時間帯 営業時間は店舗により異なります

地元市場 ハマテラス

港町女川ならではの鮮魚や水産加工品を中心とした特産品の販売や飲食店など、「海」を基本コンセプトとした8店舗が出店しています。

時間帯 営業時間は店舗により異なります

女川温泉ゆぽぽ



JR女川駅に併設の「女川温泉ゆぽぽ」。新しい女川を感じながらほっとりと癒されます。駅前には、無料の足湯もあります。

定休日 第3水曜日
時間帯 9:00～21:00
料金 大人500円 小学生300円

語り部ガイド

女川町観光協会では、被災地の視察などに訪れた団体のバスに同乗し、震災当時や、復興まちづくりについてお話しする「語り部ガイド」を行っています。

最少案内人数 10名様以上～(個人でお越しの方は要相談)
料金 下記①か②のどちらか一つとなります。
①お1人様1,000円(うち500円分は町内商店で使用できる地域通貨にてお返しします)
②バス1台にて5,000円(地域通貨は付きません)

お問い合わせ 一般社団法人 女川町観光協会 tel.0225-54-4328



被災直後



被災直後



七ヶ浜に夏が帰って来ました



現在

1被災直後の菖蒲田海水浴場 2被災直後の菖蒲田海水浴場(写真提供:七ヶ浜町/東日本大震災アーカイブ宮城) 3フルオープンした菖蒲田海水浴場(写真提供:七ヶ浜町)

4

震災からの復興 七ヶ浜町菖蒲田浜地区

東日本大震災で甚大な被害を受けましたが、防潮堤や道路、菖蒲田浜海浜公園などが整備されました。

平成29年7月に菖蒲田浜地区の復旧・復興事業が完了し、菖蒲田海水浴場が7年ぶりにフルオープンしました。



お問い合わせ先

【菖蒲田海水浴場】
七ヶ浜町観光協会事務局(七ヶ浜町役場産業課内)
〒985-0804 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
tel.022-357-7443(産業課水産商工係) fax.022-357-5744
http://shichigahama-kanko.com/

施設までのアクセス

【菖蒲田海水浴場】
〈車〉東北自動車道「仙台南IC」から約30分
〈バス〉JR仙石線「多賀城駅」から七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」で約35分
【七ヶ浜うみの駅 松島湾海鮮市場 七のや】
〈車〉東北自動車道「仙台南IC」から約35分
〈バス〉JR仙石線「多賀城駅」から七ヶ浜町民バス「ぐるりんこ」で約40分

体験者の声

- 菖蒲田海水浴場
- 輝く海ときれいに整備された防潮堤がマッチしています。
- 海水浴場周辺がきれいに整備され、安心して遊べます。
- 七のや
- 食堂で味わえる海鮮丼はネタも大きくキラキラしていて鮮度抜群!
- 七のやの近くにある、海を眺めながら食事ができるピザカフェとホテルも素敵です!

体験内容

菖蒲田海水浴場

家族 個人 団体



(写真提供:七ヶ浜町)

明治21年に東北で初めて、全国でも3番目に開設された宮城県内有数のマリニソート地です。サーフィンやウィンドサーフィンなどのメッカとしても有名で、一年中マリンスポーツを楽しめます。

3.11東日本大震災伝承板

家族 個人 団体 学習



海浜公園には、震災の経験を伝えるための「3.11東日本大震災伝承板」があります。大震災の被害状況や新たな津波対策について学ぶことができます。

七ヶ浜うみの駅 松島湾海鮮市場 七のや

家族 個人 団体



(写真提供:七ヶ浜町観光協会)

地元七ヶ浜の海でとれた新鮮な魚介類をはじめ、地元の特産品を購入できます。併設された食堂では新鮮な海の幸が、浜焼き小屋では浜焼きが堪能できます。

定休日	水曜日
時間帯	鮮魚コーナー・アンテナショップ:10:00~18:00 海鮮食堂七のや:平日11:00~18:00(L.O17:30) 土日祝10:00~18:00(L.O17:30) 海鮮浜焼き小屋はま太郎:平日11:00~14:00(L.O13:00) 土日祝10:00~15:00(L.O14:00)
備考	売れ行き状況によって営業終了時間が早まる場合がございます。
お問い合わせ	宮城県宮城郡七ヶ浜町花洲浜字館下75-41 tel.022-253-6932 https://www.shichinoya.com/

5

宮城県 | 東松島市

鳴瀬川河口部 復旧・復興事業

被災した東松島市野蒜地区のため、鳴瀬川河口部の復旧・復興事業を進めました。

河口部の復旧は完了しています。鳴瀬川周辺は、歴史的な土木構造物が多く、歴史マニアにもオススメです。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 調査課
〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80
tel.0225-95-0194
E-mail thr-kitakamigawa01@mlit.go.jp
http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/

施設までのアクセス

〈車〉三陸自動車道「鳴瀬奥松島IC」から約15分

体験者の声

- 東日本大震災から復旧した鳴瀬川の様子が見られて良かった。
- 地域の歴史と治水の話を知ることができ、おもしろいと思った。

体験内容

野蒜水門

家族 個人 団体 学習



野蒜水門は、高潮や洪水時の浸水被害を防ぐために平成15年に設置され、平成23年3月11日東日本大震災によって被災を受けました。大きな破損はありませんでしたが、現在の野蒜水門は、堤防の嵩上げに合わせて改築した新しい水門です。周辺環境の歴史・文化・伝統的背景を考慮し、外壁を煉瓦張りとしています。

鳴瀬川の歴史的構造物(選奨土木遺産)

家族 個人 団体 学習

野蒜築港は、明治政府の東北開発の最重要拠点として、現在の宮城県東松島市から石巻市一帯に計画され、国家事業として行われた日本最初(明治11年~)の近代的洋式港湾建設事業です。計画は中止されましたが、完成していれば、東北の歴史を変えていたであろう「幻の貿易港」と呼ばれています。元祿潜穴(トンネル)と明治潜穴は、かつて存在していた「品井沼」を干拓するために掘られました。先人たちの干拓にかけた情熱と歴史を伝える歴史的構造物です。



東松島市震災復興伝承館

家族 個人 団体 学習



平成28年10月、東日本大震災発生時までJR仙石線野蒜駅および東松島市奥松島観光情報センターとして利用していた建物が、「東松島市震災復興伝承館」としてリニューアルオープンしました。館内には被災前後の写真パネルの展示や大型スクリーンがあり、震災当時の記録映像を視聴することもできますので、防災・減災の取り組みを学ぶ場として、ぜひご活用ください。

営業・開館時間	9:00~17:00
定休日	毎月第3水曜日・年末年始
料金	入館無料
所要時間	40分~1時間
予約	10名以上の団体の場合、要連絡/TEL
収容人数	1名~40名まで (映像視聴座席数40席、立席であれば60名まで可)、バス1台まで
TEL	0225-86-2985

1被災直後の野蒜水門(平成23年3月16日撮影) 2復旧完了(平成29年1月13日撮影) 3野蒜海岸初日のイベント 4野蒜水門(平成29年2月25日撮影)



特別名勝「松島」の歴史と景観との調和

被災直後



被災直後



東北最多のコンテナ貨物量を誇る

東北唯一の国際拠点港湾



現在

1 仙台塩釜港(仙台区) (写真提供:宮城県多賀城市) 2 中野3頭ベルトコンベア倒壊(被災直後) 3 仙台区全景

宮城県 | 仙台市・多賀城市・七ヶ浜町

6

仙台塩釜港 (仙台区)

東北のユニットロード貨物の拠点港湾として、東北地域経済を支えています。

仙台塩釜港(仙台区)は、取扱貨物量が東北で最も多く、コンテナ船や完成自動車運ぶRORO船を間近で見ることができます。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所

〒985-0843 宮城県多賀城市明月1-4-6
tel.022-362-6211 fax.022-361-3255
E-mail pa.thr-i-shiogama@mlit.go.jp
http://www.pa.thr.mlit.go.jp/shiogama/

施設までのアクセス

【仙台港見学】

〈車〉仙台東部道路「仙台港IC」から約10分
※集合場所については、お申込みの際にお伝えします。

体験者の声

- コンテナターミナルや防波堤などの、普段は入ることが出来ない施設を見学できて良かった。
- 実際に港の仕事を見学できて、とても良い経験になった。
- 私たちの生活には、港の役割が欠かせないことがわかった。

体験内容

仙台港見学

団体 学習



完成自動車やコンテナ貨物の荷役作業など、港の利用状況を実際に見ていただきながら説明します。普段は立ち入ることができないコンテナターミナルなどの施設見学もできます。

実施時期	随時(※見学の依頼は1ヶ月前までにご連絡ください)
時間帯	平日9:30~16:00
料金	無料
備考	気象条件等により、急遽見学内容が変更となる場合があります。

夏休み! 仙台港みなと探検隊

家族 個人 学習



夏休み期間中に、親子向けに開催しています。フェリーの船内見学や仙台港背後の企業施設の見学に加えて、港湾業務艇に乗船して防波堤へ上陸したり、海上から仙台港を見学できます。港の役割を学ぶことができるため、夏休みの自由研究のテーマとしても活用いただけます。

実施時期	年1回(8月上旬)※先着30名程度
時間帯	13:00~17:00
備考	見学内容は毎年異なりますので、詳細については、塩釜港湾・空港整備事務所HPで事前にご連絡します。※見学内容によって、保険料が発生する場合があります。気象条件等により、急遽見学内容が変更となる場合があります。

宮城県 | 名取市

7

復興まちづくり 関上地区

「かわまちづくり」と連携し、名取川の河川空間と一体となった安全・安心で賑わいのある関上らしい復興まちづくりを進めています。

災害公営住宅が建ち並び、復興が進んでいる状況を見ることができます。



お問い合わせ先

名取市役所 震災復興部 復興調整課

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田570-2
tel.022-290-2085 fax.022-383-2383
E-mail chousei@city.natori.miyagi.jp
http://www.city.natori.miyagi.jp/

施設までのアクセス

〈車〉仙台東部道路「名取IC」から約5分

体験者の声

- 復興に向けてまちづくりが進められており、人力の凄さに驚かされました。
- ゆりあげ港朝市は、活気があって元気が買えます。

体験内容

日和山

関上地区被災一帯を見渡せる日和山。鎮魂の場となっています。



家族 個人 団体 学習

ゆりあげ港朝市

毎週日曜日と祝日に「ゆりあげ港朝市」が開かれています。新鮮な海の幸や地場産品の野菜などが揃っていて、地元の人たちや観光客にぎわいます。

実施時期	毎週日曜日・祝日
時間帯	6:00~13:00



家族 個人 団体

関上震災を伝える会

関上震災を伝える会では、被災した関上地区に来られる方々に関上地区の震災被害について説明を行っています。バスに同乗させていただき、関上地区内を回りながら説明をします。

実施時期	土・日曜日・祝日以外
時間帯	夏期(4~10月) 9:00~17:00 冬期(11~3月) 10:00~16:00
最小案内人数	10名
料金	5,000円(バス1台ガイド1名)



団体 学習

1 被災直後の関上地区 2 被災直後の関上地区(写真提供:名取市/東日本大震災アーカイブ宮城) 3 名取川河口部の堤防が完成 4 復興が進む関上地区

貞山運河を生かした水辺空間の創造



被災直後



被災直後



現在

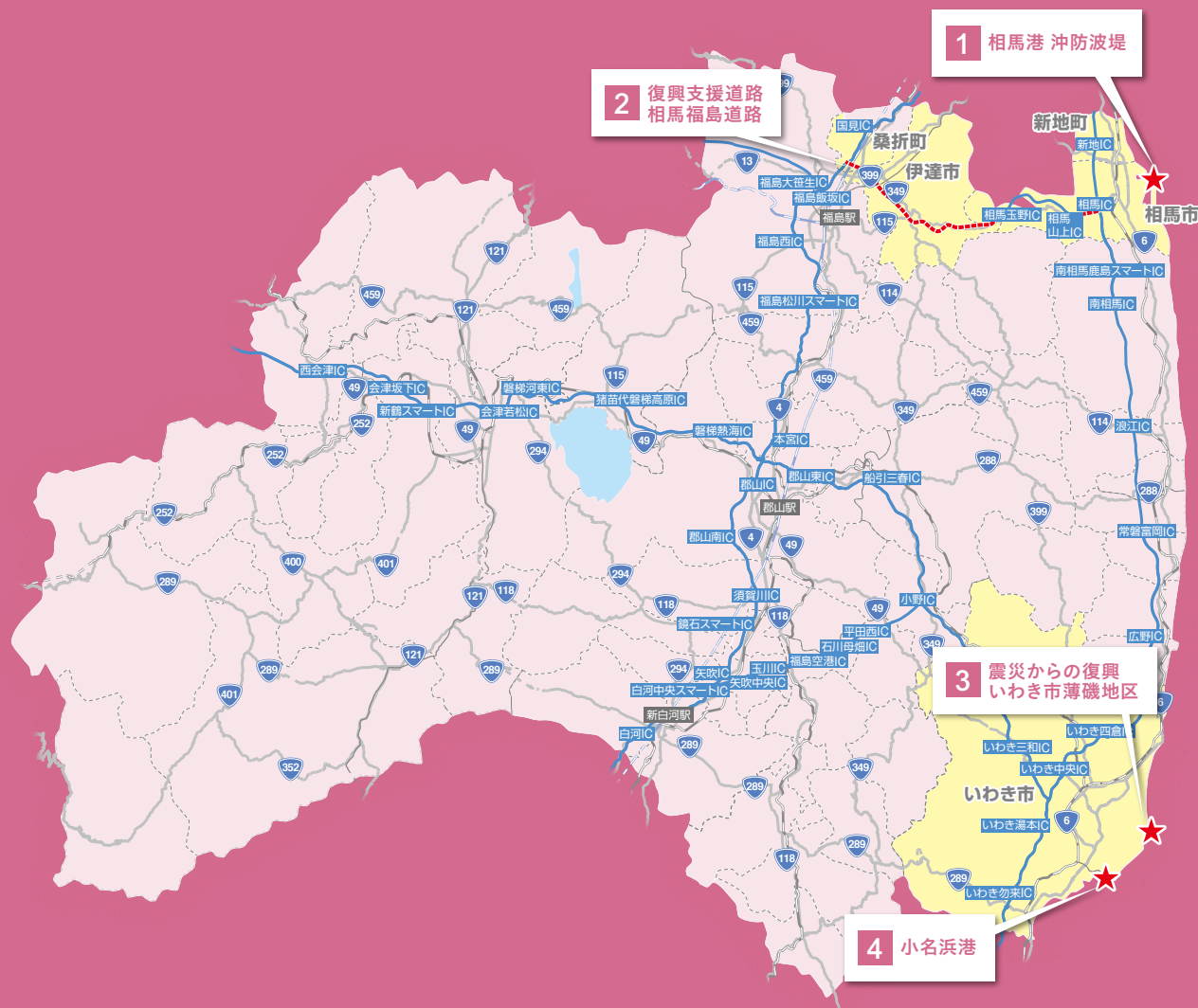


現在



福島県

FUKUSHIMA



安定的なエネルギー輸送を支えるため、
港内の静穏性を確保する防波堤



1 沖防波堤の被災状況(平成23年9月撮影) 2 沖防波堤の復旧状況(平成29年3月撮影) 3 LNG受入基地

福島県 | 相馬市・新地町

1 相馬港 沖防波堤

復旧から復興へ、
生まれ変わるエネルギー港湾です。

相馬港では、甚大な被害を受けた沖防波堤(全長:2,730m)の復旧事業と企業進出が進んでいる様子が見られます。新たに建設されたLNG(液化天然ガス)受入基地は、パイプラインにより日本海側LNG基地とつながり、災害時にも双方からエネルギーの安定供給が可能となります。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字米町65
tel.0246-53-7100 fax.0246-53-2939
E-mail pa.thr-i-onahama@mlit.go.jp
http://www.pa.thr.mlit.go.jp/onahama/

国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所 相馬港出張所

〒976-0042 福島県相馬市中村字塚ノ町65-16
tel.0244-37-8511 fax.0244-35-6722

施設までのアクセス

〈 車 〉常磐自動車道「相馬IC」から約20分

体験者の声

- 船に乗って相馬港の変遷を辿ることができて勉強になった。
- 防波堤の内と外の波の違いに驚いた。
- 港に新しい企業が集まっている様子がよくわかる。

体験内容

港湾業務艇による相馬港見学

団体

学習



港湾業務艇に乗船し、災害復旧や企業進出が進む相馬港の現状を見学することができます。天気がよければ沖防波堤に上陸し、防波堤の外側と内側での波の違いを体感頂けます。

実施時期	随時
時間帯	平日 9:00~16:00(1時間程度)
最少案内人数	5名程度
料金	無料
備考	見学希望の1ヶ月前(13名以上の場合は6週間前)迄に事前の申込をお願いします。また、12歳以下は保護者の同伴が必要です。

トピックス

大型LNG船



平成29年12月、石油資源開発(株)、国、県が連携して整備したLNG受入基地に第1船となるLNG船が入港しました。

浜通りとの人と物の

流れを作る復興支援道路



1 桑折高架橋(仮)の橋脚施工状況 2 桑折高架橋(仮)進捗状況 3 桑折高架橋(仮)完成イメージ図

福島県 | 伊達市・桑折町

2 復興支援道路 相馬福島道路

相馬福島道路は、常磐道と東北道を結ぶ自動車専用道路です。東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトです。

大規模な橋梁やICT技術などの様々な工事現場を見学することができます。



お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 計画課
〒960-8153 福島県福島市黒岩字榎平36
tel.024-539-6132 fax.024-545-5470
E-mail fukushima@thr.mlit.go.jp
http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/kidds/kengaku.html

体験者の声

- 僕たちが普段利用している道路ができるまでには、色々な人の努力を知り、とても勉強になりました。
- 新幹線の上を道路が通るなんて、驚きです。
- ICT技術を使用した最先端の現場で感心しました。

体験内容

工事現場見学

団体 学習



工事現場見学では、見て、聞いて、触って、今しかできない様々な体験ができます。

実施時期	土・日・祝及び年末年始を除く平日
時間帯	10:00~16:00
最少案内人数	10名程度
料金	無料
主な見学箇所	桑折高架橋(仮)ほか(桑折町)

福島県 | いわき市

3 震災からの復興 いわき市薄磯地区

津波により壊滅的な被害を受けましたが、海岸堤防や防災緑地、避難路となる道路などの整備が完了し、賑わいを創出するまちづくりを進めます。

塩屋崎灯台から薄磯地区の復興の状況が一望できます。



お問い合わせ先

福島県 土木部 土木企画課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
tel.024-521-7886 fax.024-521-7950
E-mail doboku_system@pref.fukushima.lg.jp
https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/

施設までのアクセス

〈 車 〉常磐自動車道「いわき中央IC」から約40分

体験者の声

塩屋崎灯台

- 景色がとんでもきれいで感動しました。
- 灯台からの眺めは360°で素晴らしいが、足がすくみました。

体験内容

薄磯海水浴場

家族
個人
団体

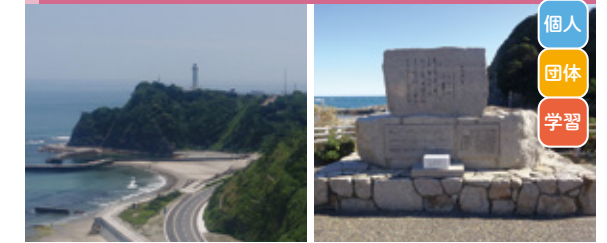


「日本の渚百選」に選ばれており、県内でも有数の海水浴場です。インフラ整備が進み、平成29年7月には、震災後7年ぶりに海開きが行われ、海水浴が楽しめるようになりました。350台分の無料駐車場も整備されています。

実施時期 7月中旬~8月中旬
お問い合わせ いわき市観光交流室観光事業課 tel.0246-22-7480 fax.0246-22-7581

塩屋崎灯台

家族
個人
団体
学習



「日本の灯台50選」に選ばれています。美空ひばりが歌った「みだれ髪」の舞台となっており、ふもとには歌碑や遺影碑が建っています。全国でも珍しい参観灯台で、灯台資料展示室も見学できます。

実施時期 年中無休(但し荒天時は休み)
時間帯 8:30~16:00(入館は30分前まで)
料金 200円(小学生以下無料)
お問い合わせ 塩屋崎灯台燈光会 tel.0246-39-3924

1 被災直後の薄磯地区海岸 2 塩屋崎灯台 3 薄磯地区



安心して暮らしていける、
笑顔あふれる街を

被災直後

2

現在

現在



県内最大級の観光スポット

みなとの物流と人流が融合する

現在

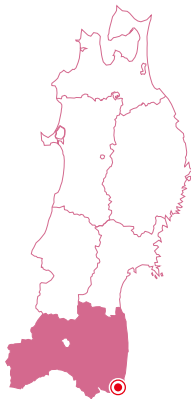
1 被災直後の6号ふ頭(現在は復旧) 2 小名浜マリブリッジ 3 小名浜港全景

福島県 | いわき市

4 小名浜港

国際バルク戦略港湾として、東日本のエネルギーを支える輸入拠点です。

整備が進む国際物流ターミナルの様子がみられるほか、多くの市民や観光客が訪れるにぎわい交流空間として、みなとオアシスにも登録されています。



お問い合わせ先

【いわきデイクルーズ】(株)いわきデイクルーズ

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
いわき市観光物産センター「いわき・ら・ミュウ」内
tel.0246-54-7600 fax.0246-54-7640

【小名浜マリブリッジ歩道一般開放】

福島県小名浜港湾建設事務所
〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町56
tel.0246-53-7121 fax.0246-53-7130

施設までのアクセス

〈 車 〉常磐自動車道「いわき湯本IC」から約20分

体験者の声

- 海上からのクルージングで小名浜港の広さを実感できた。
- 美しい橋の上から、小名浜港を一望することができました。景色がすごくよかったです。
- 橋の上からだと、人工島建設工事が進んでいる様子がよくわかる。

体験内容

いわきデイクルーズ 小名浜湾内めぐり航路



小名浜港湾内をめぐり航路(所要時間約50分)では、港の歴史などの案内を聞きながら、小名浜港の新たなシンボル「小名浜マリブリッジ」や「環境水族館アクアマリンふくしま」を間近に見ることができます。

実施時期 不定休
時間帯 9:00~17:00
(毎日10:00より1時間ごとに出発。最終便については季節等により変わりますので、お問い合わせください。)
料金 大人1,800円 小人:900円(※団体、学生割引あり)

小名浜マリブリッジ歩道一般開放



人工島である小名浜東港地区と3号ふ頭を連絡するための、橋梁延長927mの小名浜港の新たなシンボルです。現在も東港地区の整備が進められているため、普段は入ることができませんが、開放日のみ歩道を歩くことができます。

実施時期 平成30年3月までの毎週日曜日
時間帯 9:00~16:00(最終入場は15:30)
料金 無料



震災を風化させないプロジェクト ～情報発信～

震災伝承館(ホームページ)

東北地方整備局は震災伝承アーカイブ「東北地方整備局 震災伝承館」をWEB上で公開しています。震災直後の写真・動画約1万点を収蔵している他、震災から得た教訓をまとめた読み物などを紹介しています。



「震災伝承館」はこちらから
<http://infra-archive311.jp/>



検索サイトから

震災伝承館

検索

東日本大震災メモリアル施設

未曾有の大地震・巨大津波によりその機能を失ってしまったインフラ(道路・港・空港)について、被災地での救助・救援活動が速やかに始められるよう、被災直後から人知れず尽力した人々がいました。その人々の活動と教訓を風化させず、忘れずに後世に伝えるために、「東日本大震災メモリアル施設」を各地に設置しています。

H29年度設置箇所(2月下旬~3月上旬予定)

救援ルートを確認した道路啓開「くしの歯作戦」(岩手県宮古市)

太平洋沿岸に巨大津波が押し寄せ、各地に壊滅的な被害をもたらし、瓦れきや橋の流出で沿岸部の各地を孤立させました。

被災直後に立案された「くしの歯作戦」のもと、「道路啓開」が実施されました。宮古市では、余震が続き大津波警報が発令されている状況下で、地元建設業者、国(三陸国道事務所)、地方自治体、自衛隊など、関係機関が一丸となって道を塞ぐ瓦礫を撤去し、車輛が通れるようにする「道路啓開」を実施しました。

被災翌日の3月12日には内陸部からの救命・救援ルートが確保されました。

ポンプ車集中投入仙台空港を早期「再生」(宮城県岩沼市)

太平洋沿岸に押し寄せた巨大津波は東北の空の玄関として重要な仙台空港も襲いました。空港内はもとより沿岸部周辺の広いエリアが浸水し、甚大な被害をもたらしました。

国土交通省では排水ポンプ車を全国から集中投入し、25mプール約14,000杯の水を排水しました。3月16日には滑走路が暫定利用可能となり、アメリカ空軍・同海兵隊・自衛隊による日米合同救援活動「トモダチ作戦」の拠点として使用され、国内外の救援物資をヘリコプターや車両で被災地へ搬送するための輸送拠点として活用されました。

支援物資輸送を確保した航路啓開(仙台塩釜港)(宮城県仙台市)

東北太平洋沿岸の港湾に甚大な被害を受け、船舶の入出港が不可能となったことで、海上物流は完全にその機能を停止しました。

支援物資や燃料の輸送ルートの確保が急務であったことから、海上に流出した障害物を除去し、船舶の入出港に必要となる水深を確保するため、全国から集結した起重機船が「航路啓開(障害物の除去)」を行いました。

発災から6日後の3月17日に第一船が入港し、被災地へ非常食や毛布などの支援物資が届けられました。



▲復興モニュメントの一例 (阿武隈川 寺島堤防)



震災を風化させないプロジェクト ～記録・記憶の伝承～

震災遺構

「震災遺構」とは、震災が原因で倒壊した建物などですが、次世代に向けて震災が起きたという記憶や教訓のために保存するものです。

被害が大きかった岩手、宮城、福島の子県沿岸部を中心に保存されています。

岩手県		
市町村名	施設名称	所在地
野田村	米田歩道橋の一部	野田村十府ヶ浦
普代村	普代水門	普代村第14地割
普代村	大田名部防潮堤	普代村大田名部
田野畑村	明戸海岸防潮堤	田野畑村明戸
宮古市	たろう観光ホテル	宮古市田老80-1
大船渡市	茶茶丸パーク時計塔	大船渡市大船渡町明神前10-8
大船渡市	市民体育館前屋外時計	大船渡市盛町字中道下1-1
陸前高田市	奇跡の一本松	陸前高田市気仙町
陸前高田市	タピック45	陸前高田市高田町
陸前高田市	下宿定住促進住宅	陸前高田市気仙町
陸前高田市	気仙中学校	陸前高田市気仙町
陸前高田市	ユースホテル	陸前高田市気仙町

宮城県		
市町村名	施設名称	所在地
仙台市	仙台市立荒浜小学校	仙台市若林区荒浜字新堀端32-1
石巻市	旧門脇小学校校舎	石巻市門脇町4-2-11
石巻市	大川小学校校舎	石巻市釜谷山根1
気仙沼市	旧気仙沼向洋高等学校校舎	気仙沼市波路上瀬向9-1
東松島市	旧野蒜駅プラットフォーム	東松島市野蒜字北余景56-36
山元町	旧中浜小学校	山元町坂元字久根22-2
女川町	旧女川交番	女川町女川浜地内

福島県		
市町村名	施設名称	所在地
いわき市	井戸沢断層	いわき市田人旅人

平成30年2月時点

普代水門～村民を守った防潮堤、水門について

普代村では、東日本大震災津波において震度5強の地震に見舞われたのに続き、最大でT.P.+24mに達する津波が襲いました。津波は防潮堤、水門等を越えて川を町の中心部まで遡上したものの、ハード面での津波対策が機能し被害を最小限とすることにつながりました。



普代水門の全景



被災後の普代水門
出典：広報ふだい（平成23年3月号）

【普代海岸（地区海岸名：宇留部海岸）諸元】
・施工延長 205m（水門105m、堤防100m）
・計画天端高 T.P.+15.5m（明治三陸津波）
※県内で最大の高さ

出典：防災・復興に関する岩手県からの提言



震災を風化させないプロジェクト ～記録・記憶の伝承～

東日本大震災 語り部情報

東日本大震災の記憶や教訓を後世に「語り継ぐ」ために、東北の各地で様々な取り組みが行われています。

岩手県内

地区	団体名	お問い合わせ
盛岡市	いわて復興ツーリズム推進協議会	019-641-8811
宮古市	三陸鉄道	0193-62-8900
宮古市	一般社団法人宮古観光文化交流協会	0193-62-3534
大船渡市	樽の里・大船渡ガイドの会	0192-29-2121
大船渡市	吉浜元気組	0192-27-9669
大船渡市	大船渡津波伝承館	0192-47-4408
陸前高田市	長洞元気村	080-2180-7094
陸前高田市	陸前高田市観光物産協会・陸前高田観光ガイド部会	0192-54-5011
陸前高田市	一般社団法人マルゴト陸前高田	0192-22-7410
釜石市	釜石観光物産協会	0193-22-5835
大槌町	一般社団法人おらが大槌夢広場	019-903-0396
山田町	新生やまだ商店街協同組合	0193-77-3732
岩泉町	岩泉観光ガイド協会	0194-22-5955
田野畑村	NPO法人 体験村・たのはたネットワーク	0194-37-1211
野田村	野田村観光協会	0194-78-3131

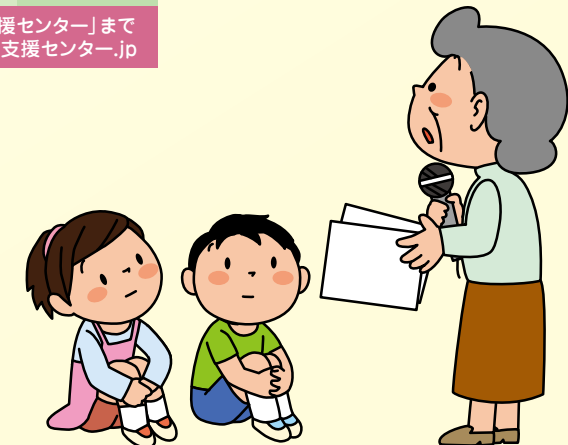
宮城県内

地区	団体名	お問い合わせ
石巻市	石巻観光ボランティアの会 大震災学びの会	0225-93-6448
石巻市	株式会社ヤマサコウショウ	0225-23-0151
石巻市	道の駅上品の郷	0225-62-3670
石巻市	一般社団法人 みらいサポート石巻	0225-98-3691
石巻市	一般社団法人 雄勝花物語	090-9037-4593
石巻市	ホテルニューさか井	0225-45-2515
石巻市	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク	0225-23-8588
塩釜市	特定非営利活動法人 浦戸福祉会	022-349-4931
塩釜市	丸文松島汽船株式会社	022-354-3453（塩釜より乗船の方） 022-365-3611（塩釜から乗船の方）
気仙沼市	気仙沼震災復興語り部ガイド（気仙沼観光コンベンション協会）	0226-22-4560
気仙沼市	気仙沼・本吉広域防災センター	0226-22-6688
気仙沼市	唐桑半島ピンターセンター・津波体験館	0226-32-3029
気仙沼市	気仙沼大島観光協会	0226-28-3000
気仙沼市	NPO法人海への森をつくらう会	0226-25-9067
名取市	開上震災を伝える会	022-382-6526
名取市	特定非営利活動法人 地球のステージ開上の記憶	022-738-9221
東松島市	奥松島観光ボランティアの会	0225-87-2322
東松島市	奥松島縄文村歴史資料館	0225-88-3927
東松島市	宮城県松島自然の家	0225-83-4815
亘理町	震災語り部の会 ワツタリ	0223-34-0513
山元町	非営利型一般社団法人 ほほえみみやぎネットワーク	0223-36-9940
七ヶ浜町	かたっぺ七ヶ浜	090-2991-3114
女川町	一般社団法人 女川町観光協会	0225-54-4328
女川町	復興まちづくり情報交流館	0225-50-1072
南三陸町	南三陸町観光協会（学びのプログラム）	022-221-1864
南三陸町	南三陸町観光協会（まちあるき）	0226-47-2550
南三陸町	すばらしい歌津をつくる協議会（震災復興支援部）	0226-36-2575
南三陸町	南三陸ホテル観洋	0226-46-2442
南三陸町	志津川自然の家	0226-46-9044

福島県内

地区	団体名	お問い合わせ
福島市	福島市観光コンベンション協会	024-531-6432
いわき市	いわき・ら・ら・ミュウ	0246-92-3701
いわき市	小名浜地区復興支援ボランティアセンター	0246-92-4298
いわき市	山六観光	0246-39-3636
いわき市	いわきディクルーズ	0246-54-7600
いわき市	環境水族館アクアマリンふくしま	0246-73-2525
白河市	白河観光物産協会	0248-22-1147
相馬市	相馬市観光協会	0244-35-3300
田村市	星の村天文台	0247-78-3638
南相馬市	南相馬観光協会	0244-22-2114
伊達市	NPO法人りょうぜん里山がっこう	024-587-1032
矢吹町	合名会社大木代吉本店	0248-44-3161

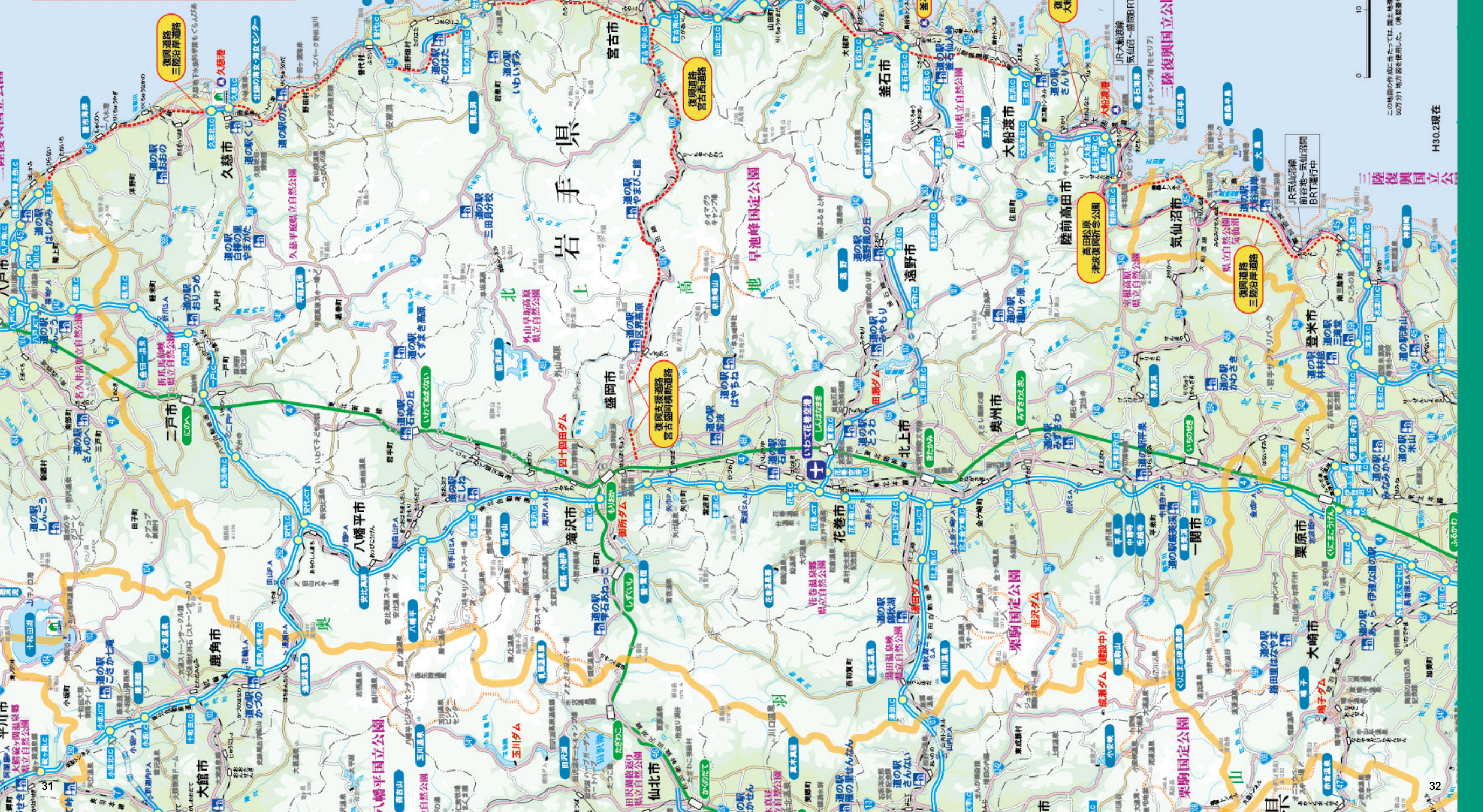
その他団体への問合せは、「ふくしま観光復興支援センター」まで
TEL:024-525-4024 <http://ふくしま観光復興支援センター.jp>



岩手県MAP

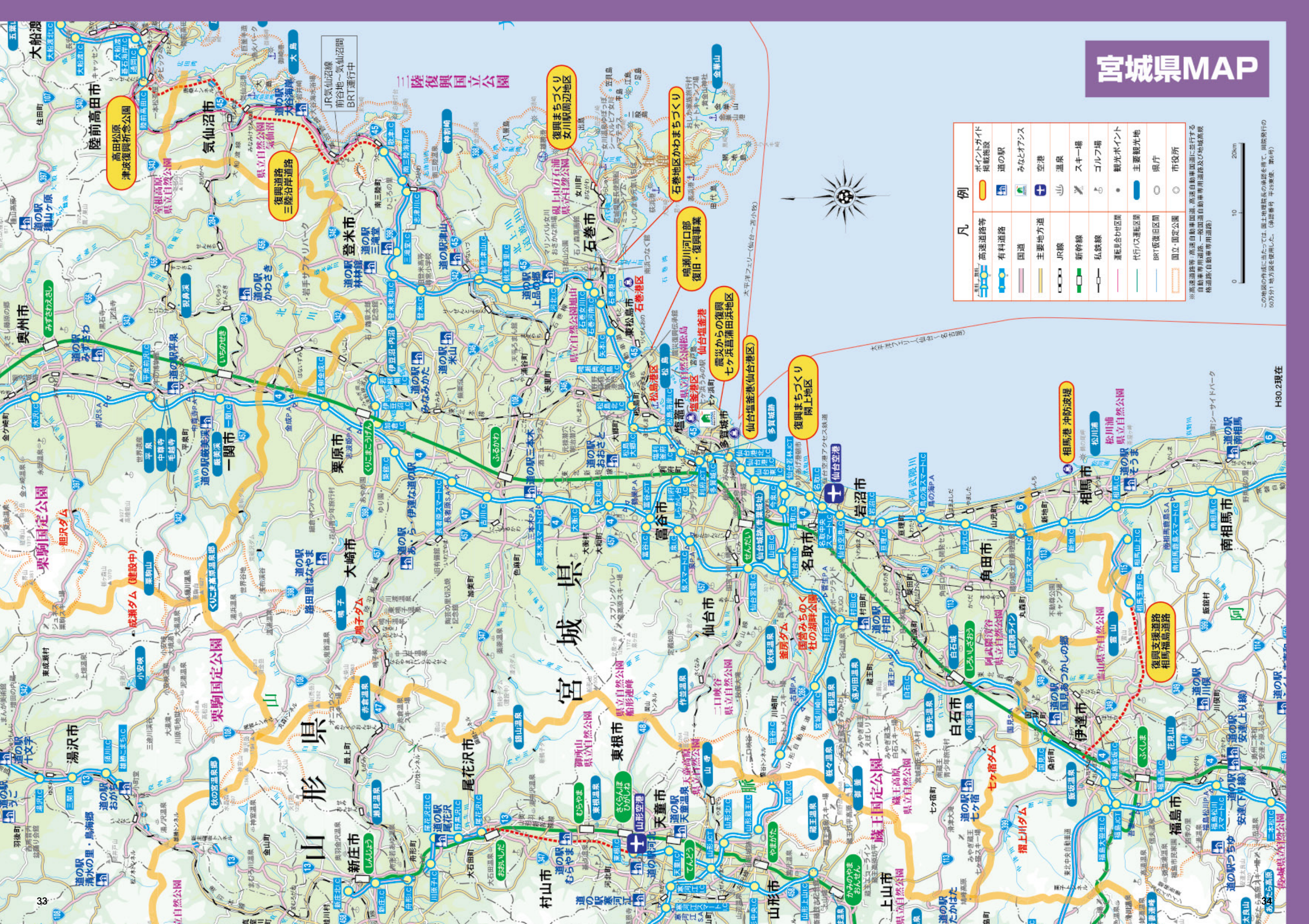
凡例	
	高速道路等
	有料道路
	国道
	主要地方道
	JR線
	新幹線
	私鉄線
	運輸むせ区画
	代行バス区画
	BRT仮設区画
	国立・国定公園
	観光ポイント
	主要観光地
	県庁
	市役所

※高速道路等：高速自動車国道、高速自動車国道に並行する自動車専用道路、一般国道自動車専用道路及び地域高規格道路（自動車専用道路）



この地図の作成に当たっては、国土交通省の委託を得て、関係機関の協力により、最新の情報に基づき作成した。 (作成時期 平成29年)

宮城県MAP



凡例	例
高速道路等	ポイン্টガイド 掲載施設
有料道路	道の駅
国道	みなとオアシス
主要地方道	空港
路線	温泉
新幹線	スキー場
私鉄線	ゴルフ場
運送組合地区間	観光ポイント
代行バス運送区間	主要観光地
BRT仮便区間	県庁
国立・指定公園	市役所

※高速道路等・高速自動車専用道路、高速自動車専用道路に並行する自動車専用道路、一般国道自動車専用道路及び地域高規格道路(自動車専用道路)

この地図の作成に当たっては、国土庁長官の承認を得て、国が発行の50万分の1地方図を使用した。(発行番号 平29東経、第0号)

福島県MAP

凡 例			
	高速道路等		ポイントガイド掲載施設
	有料道路		道の駅
	国道		みなとオアシス
	主要地方道		空港
	JR線		温泉
	新幹線		スキー場
	私鉄線		ゴルフ場
	運転見合わせ区間		観光ポイント
	代行バス運転区間		主要観光地
	BRT仮復旧区間		県庁
			市役所

※高速道路等：高速自動車国道、高速自動車国道に並行する自動車専用道路、一般国道自動車専用道路及び地域高規格道路(自動車専用道路)

JR只見線
会津川口～只見間の運転見合わせ中、詳しくはJR東日本ホームページ等でご確認ください。



JR常磐線
富岡～浪江間の運転見合わせ中、詳しくはJR東日本ホームページ等でご確認ください。

震災からの復興
いわき市薄磯地区

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万1分1地方図を使用した。(承認番号 平治東保 第6号)

インフラツーリズムHPの紹介



東北地方の未来を支える社会基盤整備について知っていただくため、普段なかなか入る機会のない工事現場や施設の現場見学会を開催しています。みなさまも、お住いの地域に限らず、見て、聞いて、触って、公共事業を体感してみませんか？

現場見学の利用について

- 対象見学会** 各県の見学会一覧をご覧ください。
- 開催時間** 平日の9:00～17:00の間で、2時間以内です。工事現場によっては休日も受け入れる場合もありますので、個別にお問い合わせください。
- 対象** 工事現場での安全面での配慮から、乳幼児同伴や個人はご遠慮ください。
- 費用** 無料です。ただし、現場までの移動経費・交通費、障害事故に係る保険加入料は依頼者で負担をお願いします。
- 旅行業の方へ** 東北地方整備局では、インフラツアーを企画していただけるツアー会社を募集しています。条件などは各見学会の担当者にご相談ください。

ご不明な点やご相談等がありましたら、各見学会のお問い合わせ先までご連絡のうえ、確認いただきますようお願いいたします。

東北版 インフラツーリズム



インフラツアーポイントガイド

東北地方整備局管内のインフラ施設を紹介するガイドブックを発売しています。大人になった今こそわかる、インフラ施設のおもしろさを体験してみませんか？イベント情報等掲載しておりますので、上記HPよりぜひ一度ご覧ください！

ガイドブック Vol.1



ガイドブック Vol.2



パンフレット版



協力機関

岩手県

宮城県

福島県

宮古市

大船渡市

石巻市

名取市

七ヶ浜町

女川町

いわき市

インフラツアーポイントガイド 復興版

～復興の「現在」を訪ねる旅に出かけよう～

初版 2018年2月

編集・発行 国土交通省 東北地方整備局 企画部企画課
宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号
仙台合同庁舎B棟
TEL.022-225-2171

次回 Vol.3が発刊予定です